

## なぜ試みを受けられたのか

(マタイ4・15-11)

## 一、御霊に導かれて荒野に

1節を見てまいります。〈それからイエスは、悪魔の試みを受けるために、御霊に導かれて荒野に上って行かれた。〉と書かれています。短い文章ですが、様々に考えさせられます。まず主イエスは、父である神が御自身に授けられた使命を達成するべく、活動を開始するに当たって、悪魔の試みを受けられたことです。悪魔の試みを受けられたのは御霊の導き、すなわち神の導きでした。主イエスが神の国の福音を知らせる務めを実行するにあたり、神は主イエスを荒野に導かれ、悪魔の試みを受けることを良しとされたわけです。

## 二、第一の試み

旧約聖書をひも解きますと、主イエスに対する神の取り扱いは、何とイスラエルに対する主の取り扱いであったことを知ります。申命記8章2節に〈(略)それは、あなたを苦しめて、あなたを試し、あなたがその命令を守るかどうか、あなたの心のうちにあるものを知るためであった。〉とあります。主はイスラエルを試し、主の命令を守るかどうか、イスラエルの心のうちにあるものを知るために、試みられました。

た。同じことが、主イエスにおいても、父である神によってなされました。

主イエスが「神の子」であることは、すでに天から語られていました。洗礼者ヨハネからバプテスマを受け受けられた時のことです。「これはわたしの愛する子。わたしはこれを喜ぶ」と。では、4章に書かれている、主イエスが受けられた悪魔からの試み、すなわち父である神が悪魔を用いて行われた試みは何のためだったのでしょうか。それは、神が計画されたメシアにふさわしいかどうかを試すテストでした。3節のこゝばに表れています。すると、試みる者が近づいて来て言った。「あなたが神の子なら、これらの石がパンになるように命じなさい。」と。ここで、試みる者が語った「あなたが神の子なら」は、「あなたがメシアなら」の意味合いです。もし主イエスが、当時のユダヤ人たちが考えたようなメシアを目指していたのであるなら、奇跡を行うことのできる力を用いて、石をパンに変えていたことでありましょう。ですが、石をパンに変えたら、神が遣わされたメシアにはなりません。なぜなら、神が遣わされたメシアは十字架の死に至るまで、父である神の御意思に従順にお従いするメシアであったからです。

主イエスのその根底にあった思いは、みことばによって生きることでした。4節に「イエスは答えられた。『人は、パ

ンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばで生きる』と書いてある。」とあります。常に、みことばを思い、みことばに生かされていることです。ちなみに、神が主イエスを試みられた、すなわちテストされた行為は、私共に対してもなされます。

こうして主イエスは、第一の試み(テスト)に合格し、次の段階に進まれました。

## 三、第二、第三の試み

神が悪魔を用いて行われた第二の試みは、神を試みないというテストでした。悪魔は詩篇91篇を引用して、神の子イエスを試みました。5節、5節です。

〈マタイ4・5-6〉と。私共は、神が日々の生活を守ってくださると信じる者です。もちろん現実には、交通事故に遭ったり、病に冒されたりして、命を落とすこともありまます。ですが、主が守ってくださいと信じて生きていきます。あるいは、主が祈りに答えてくださると信じて祈る者です。詩篇91篇が語っているのは、そういう意味です。これを取り違えて、神が私をガードしてくださっているから、無茶をしたって大丈夫であるとなりましたら、まちがいです。神を試みることになるからです。7節をご覧ください。〈マタイ4・7〉

神が悪魔を用いてなされた第三の試みですが、おそらくこれが、主イエスに

とっての最大の試みになったと思われる。と。一つことは、私共が最も気をつけなければならない試みであり、テストです。それは神のことばに生かされて歩むのではなく、「サタン」すなわち「神に敵対する者」に心を許してしまふことです。8節、9節です。〈マタイ4・8-9〉 この世、すなわち神不在の世界は、いつの時代もきらびやかで、一見したところ元氣です。この世とは、そういう所です。ならば、神に頼らないで、自分のビジョンを進めて行った方がうまく行くのではないのでしょうか。特に有能な人ほど、この手の誘惑にさらされることと思われまます。

神が人となられた主イエスは、神の御思いによらないでメシアの務めを全うしようとなさいませんでした。10節で、次のように命じられているからです。〈マタイ4・10〉とあります。すなわち主イエスは、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで、主の御意思に従順に歩まれました。こうして、結果としてメシアの務めを成し遂げられました。

私共も同じです。主イエス・キリストと出会って信仰を持つ方は、弱さを自覚している方が多いと思います——私は、弱さも賜物かと思いますが——。ですから神を礼拝し、神のみことばに仕えることの意味を知っています。そうであるなら生涯それを続けてください。